

前期の感想

C108067A 後藤裕也

プログラミングについては去年から先輩にどのような授業なのか聞いていたが、実際に自分がプログラミングをうけてみて、とんでもなく大変で恐ろしい授業だと思った。毎週火曜日が嫌になりそうだった。なんとか一時間一時間ついていくように努力はしてきたが、自分はパソコンについてはまったくのうえ授業の早過ぎるともいえるスピードについていけず何度も嫌になった。しかしなんだかんだで一回も休まず毎回出席し、授業には相変わらずついていけないがその日の授業の分のプログラムを授業終了時までには、なんとか作成することができるようになり、前期中盤あたりにはプログラミングという授業に嫌気はささなくなってきた。課題は友達の手を借りまくってなんとか完成させ、C評価ばかりだったが提出しないよりはマシだと先輩が言って励ましてくれたりもしてくれてとても助かった前期だった。最近ようやく基礎を覚えてきたり、友達に教えてもらったことを理解できるようになってきて。毎週毎週の課題がとても大変だけど完成させて送信したときがとても嬉しく、とりあえず今週は終わったと、まるで週末のように感じた。そんな火曜日が何週も続きいまにいたる。プログラムが上手く実行しないで一時間以上悩んだ時もあったし、先輩や友達に聞きまくって作ったものが大半であるが、後期からは自分の力でがんばってつくっていきたい。おそらく今までで一番大変な授業であったが頑張っけてこれて本当によかった。そしてこれからも投げ出さずに頑張っていきたいと思う前期のプログラミングであった。